

| | | |
|-----------------|--|--|
| オグラコウホネ | <i>Nuphar oguraensis</i> Miki | 絶滅危惧 I 類 |
| (環境省:絶滅危惧 II 類) | | スイレン科 |
| 選定理由 | 生育地が局限され、個体数が減少傾向にある。 | 写真(高橋弘) |
| 形態の特徴 | 沈水葉と浮葉があるが、岐阜県のものでは大部分が沈水葉のみを見つけ、浮葉は僅かにつくられるのみ。浮葉の葉柄は中空。花は直径2-3cm。柱頭は細長い稜となって盛り上がる。雄蕊の花糸は葯が裂開した後、強く反り返る。 |  |
| 生態的特徴 | 水深の浅い池や水路に生育する。花期は5-10月。 | |
| 分布状況 | 日本に固有で、東海以西に分布し、岐阜県では県南中部にわずかに見られる。 |  |
| 減少要因 | 池や水路の改修などによる生育可能な環境の変化と、水質の悪化。 | |
| 保全対策 | 水質を含む生育しやすい環境の整備。 | |
| 特記事項 | 岐阜県のものでは浮葉は僅かに出すのみ。岐阜県は分布のほぼ東限にあたる。 | |
| 参考文献 | | |

文責:高橋弘